

第6次秋田県男女共同参画推進計画(素案)に係る意見への対応について

	ページ	関連項目	委員からの意見	対応状況
1	25	【指標の設定について】 推進の柱2 参考指標「子宮頸がん検診受診率」	子宮頸がんの予防において、現在、HPVワクチンが有効であるが、接種率を指標として設定できないか。	(保健・疾病対策課) HPVワクチンは、予防接種法上、市町村が実施主体となる定期接種となります。このため、県の施策実施や取組において、この接種率を指標として定めることは困難であると判断しました。 県計画においては、子宮頸がん予防全体における県の役割を踏まえ、引き続き、がん検診の受診率を指標(参考指標)として定め、取組を進めてまいります。
2	24	【指標の設定について】 推進の柱2 施策の方向(1)ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶	指標が少ないと感じるが、所管課における指標設定に際しての検討状況を伺いたい。	(県民生活課) 当課所管「第5次秋田県犯罪被害者等支援基本計画」においても、性犯罪・性暴力に関連した指標を設定していないことから、整合を図ったものです。 また、検討過程では、「あきた性暴力被害者サポートセンター」の相談件数を想定しましたが、件数の増減要因について、相談窓口の周知効果なのか、犯罪件数の増減によるものか判定が難しいため、指標化は困難と判断しました。 (警察本部) 価値観の多様化が進む中、今後も性犯罪の対象となる行為の拡大が予想されますが、性犯罪の発生状況を指標とした場合、成果が見えづらいものと判断しました。また、性被害等の相談件数については、要因分析において、窓口の周知効果なのか、被害の増減なのか判別が難しいことから、指標化は困難と判断しました。
3	16	【施策について】 推進の柱2 施策の方向(1)ジェンダーに基づくあらゆる暴力の根絶 基本施策②DV防止の普及啓発・学校等における予防教育の充実	SNS上におけるDV予防施策について、計画に盛り込むべきではないか。	(地域・家庭福祉課) 当課所管「秋田県困難な問題を抱える女性への支援等に関する基本計画」において、SNS等に特化した施策の記載がないことから、整合を図ったものですが、県においては、引き続き、あらゆるDVについて、防止に向けた普及啓発や相談体制を強化してまいります。